

東青

# みどりの通信

No.107  
平成30年  
4月27日

奥津軽  
いまへつ駅  
2016.3.26開業



東青地域県民局地域農林水産部  
■ 農業普及振興室 ■

〒030-0861  
青森市長島二丁目10番3号 青森フコク生命ビル6F  
TEL 017-734-9990 FAX 017-734-8305  
E-mail hi-nosui@pref.aomori.lg.jp

## 平成30年度の普及指導活動について

農業普及振興室長 長谷川 修

農業普及振興室では、毎年度、「攻めの農林水産業」と連携して「普及指導計画」を定め、地域農業の振興と地域の活性化を支援しております。

昨年度は、

- 1 東青地域の果樹の楽園づくりの推進
- 2 「青天の霹靂」の生産拡大とブランド化の推進
- 3 トマト指定産地の生産力向上
- 4 地域経営を担う集落営農組織等の法人化と経営改善支援
- 5 若手女性等による農山漁村起業活動の推進に取り組んできました。

その結果、皆様の御努力・御協力のおかげもあり、

- 1 「青天の霹靂」は、出荷基準のタンパク質含量6.4%未満を全量達成
- 2 昨年度までの2か年で「観光果樹園」を2か所増加
- 3 女性起業が6つの新商品を完成するなどの成果を上げることができました。

本年度の普及指導計画においては、昨年度の取組に加え、

- 1 稲作へのICT技術の活用
- 2 商品力の高い大粒ぶどうの普及拡大
- 3 集落営農法人のネットワーク化

などに取り組み、引き続き農業者の所得向上を図っていく所存ですので、本年度もよろしくお願いいたします。



女性起業による加工品  
トマトジュース



グリーンツーリズムの新メニュー  
りんごピクニック



## 青森市浪岡のりんご農家 間山直浩氏が

### 「第36回青森県農業経営研究協会賞」受賞

平成30年2月22日、ラ・プラス青森において、第36回青森県農業経営研究協会賞の表彰式が行われ、間山直浩氏が受賞しました。

同賞は、農業経営の改善について自ら実践し、優れた業績をあげた農業者や農業者の組織する団体を表彰するもので、年間農業所得がおおむね500万円以上であること、経営記録が明確であること、地域での信頼が高く、地域農業の振興に指導的役割を果たしていることが要件となっています。

間山氏は、就農当時、マルバ台の老木が多く中生品種が主力だったものを、平成3年の台風19号によるりんごの落果被害を契機に栽培面を見直しました。毎年、計画的にわい化栽培へ切替えを進めるとともに、消費者や市場の要望と労働力配分の観点から、早生から晩生、赤色系・黄色系など幅広い熟期と品種構成で危険分散を図っています。

樹園地は約3.5ha・わい化率5割強、販売面では市場6割、宅配3割、農協1割と販売先を組み合わせ、販売力と経営力の安定化を実現しています。

また、青森県営農大学校の学生や新任普及指導員、新規就農希望者などを受け入れ、後継者の育成に努めるとともに、津軽地域全域で剪定指導を行い、わい化栽培の基本となる剪定技術の普及に力を入れています。



前列中央が間山夫妻

## 春の農作業安全運動を5月31日まで展開中！！

農作業は急がず焦らず慎重に！

- ・慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
- ・必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
- ・自分を過信せず、無理をしないで作業を行いましょう。
- ・一人での作業は避け、やむを得ず一人で行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
- ・家族など、地域全体で注意を呼びかけましょう！





# 祝 青年農業士 ViC・ウーマン あおもり土づくりの匠

## 青年農業士



みかみ ひろし  
三上 紘史さん

(青森市)

平成 22 年に就農。水稲とミニトマトとの複合経営を実践し、農地を集積し規模拡大を図るとともに、平成 28 年に水稲部門を法人化しました。

共済組合や農協生産部会の役員等で活躍しています。



たかはし かずゆき  
高橋 和幸さん

(青森市)

平成 17 年に就農し、妻とともに野菜を担当、大玉トマト主体から高収益が期待できるミニトマトを導入し、規模を拡大しています。

土づくり組織や農協青年部等で精力的に活動しています。



かたやま てつや  
片山 徹也さん

(平内町)

平成 24 年に就農し、借地による規模拡大を図りながら、主食用米、飼料用米と大豆を作付しています。

農協青年部や就農地で組織化されている集落営農組合の担い手としても期待されています。

## ViC・ウーマン



おやま ちかこ  
小山 千賀子さん

(青森市)

「浪岡アップル友の会」の庶務として、組織の活性化を図っています。

また、水稲と野菜の複合経営を行い、特にメロンは対面販売により地産地消活動を実践しています。



ふくい ともみ  
福井 知美さん

(蓬田村)

蓬田村漁協女性部(監事)や郷沢婦人会等で、組織運営、地域のコミュニティづくりを行っています。

また、ホタテの養殖技術の習得・向上に意欲的に取り組んでいます。

## あおもり土づくりの匠(耕種部門)



ささき こうゆう  
佐々木 広洋さん

(青森市)

20 年以上、稲わらと粃殻の完熟堆肥施用によるトマト栽培と緑肥の輪作によるながいも栽培に取り組みエコファーマーの認定を受けています。

J A 青森トマト部会支部長として指導的な役割を果たしています。

## 「小さな火 大きな森を 破壊する」

一人一人が、タバコの投げ捨てや、たき火等の不始末に注意しましょう！
















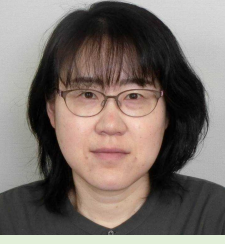






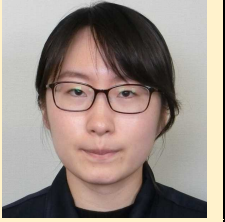

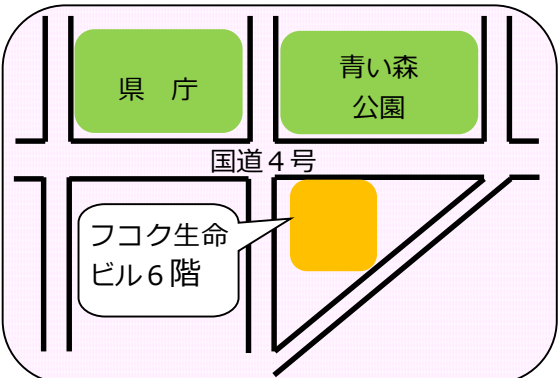
## 「山菜採りは、目先の収穫より、安全第一！」

- 1 入山前に、家族等に行動予定を連絡しましょう。
- 2 二人以上で入山し、防寒具や非常食を準備しましょう。
- 3 道に迷ったら、大木の陰などで風を防ぎ、救助を待ちましょう。
- 4 日没後の行動は危険です。





# 平成30年度農業普及振興室職員紹介！

農業普及振興室長	企画班	経営・担い手班	生産班		
 <b>長谷川 修</b> 【室の総括】	 <b>副室長 齋藤 力</b> 【班の総括】	 <b>副室長 加藤 寿男</b> 【班の総括】	 <b>副室長 斉藤 仁志</b> 【班の総括】		
 <b>齋藤 はるみ</b> 【農地中間管理事業、6次産業化】	 <b>對馬 美子</b> 【経営所得安定対策、エコファーマー】	 <b>成田 勝治</b> 【経営改善、法人化、集落営農育成】	 <b>白石 一志</b> 【4Hクラブ、資金活用】	 <b>横山 順一</b> 【花き、災害】	 <b>佐々木 孝子</b> 【稲作、畑作】
 <b>佐藤 祐子</b> 【攻めの農林水産業、食品表示】	 <b>齋藤 聡子</b> 【鳥獣害、GAP、人・農地プラン】	 <b>関 みち子</b> 【女性起業育成、特産品開発】	 <b>白取 愛</b> 【女性組織活動、家族経営協定】	 <b>三村 葉子</b> 【重要家畜伝染病、肉用牛】	 <b>北野 拓磨</b> 【野菜、冬の農業、農薬適正使用】
 <b>長村 芳枝</b> 【水循環、食育、健康な土づくり】	 <b>葛西 文</b> 【新規就農者、認定農業者】	 <b>小田桐 理佳</b> 【経営体育成事業、地域経営】	 <b>下山 ひろみ</b> 【野菜、指定産地、あおり海道そば】	 <b>中野 裕子</b> 【酪農、自給飼料、養蜂】	 <b>藤田 正男</b> 【果樹、放射能モニタリング】
			<p>当農業普及振興室は、県庁の筋向いの「青森フコク生命ビル」の6階にあります。</p> <p>駐車場は、県庁北棟地下をご利用ください。</p>		